




# 考え



ウマシカ

(そういう類のアレが我々に一縷でも備わっていてほしい  
という願望も含めての意味で)

## 頑張れ、文才

弦楽器イルカ  ⇒ 友人

久し振りだね。

50年後、100年後の世界についてかあ。

そういえば、学生時代にも広告を作るために同じことを考えたね。

この件について言えば、ピケティの『21世紀の資本』が俊逸すぎて、何も書きたくないのがホネだけれども、ひとりの生きる素人として、考えをまとめたい。

50年前といえば、宇宙開発競争まっさかりで、まだ月面に人類は到達していないね。

原始的なコンピューターはあっただろうが、今なら3歳時のおもちゃ以下の性能しかないだろう

。

そんな状況を踏まえて、今後の50年をイメージしてみる。むずかしいなあ。

技術力の進化で言ったら、現代人が想像できないものがいくつか登場しているはず。

おそらくは、介護問題についてはロボットで解決済だと思う。

そういう意味で、少子高齢化の心配はあまりしなくていいのではないかな。

ガンダムの世界みたいに、宇宙に進出くらいはしていると思うけどね。

50年後には、今の金持ちはほぼ死んでいるか、死んでいるのと変わらないだろうね。

自分たちが権力を維持するというよりは、相続をどうするかという問題が、公平不公平の問題の本質だと思う。50年単位で物事を考えるということは。

ピケティが指摘していたのは、相続税に関して言えば、過去200年間極めて平等な方向に進んでいるということ。昔は相続し放題だったので、今は随分平等な社会になったもんだよ。

そういうことだと思う。金持ちがより金持ちになっているというのが、ピケティの趣旨だけれども、彼はけっして、貧乏人が貧乏のままとは言っていないからね。

日本など先進国の地位は相対的に低下していく。これは間違いないだろうね。

ピケティの指摘のとおりだけれども、アジア、アフリカなどの国の経済水準は、どんどん高まっていくはずだよ。

戦後から今までのような、G8のようなトップエリート国が、世界を引っ張っていくというのは、これからはなさそう。

最近、パリでテロがあったので、いろいろ思うけど、個人的にはパリは大好きな街だ。

とくに、オルセー美術館とルーブル美術館が好きだ。

人類の精神の高さに感動するよ。

ゴッホとかさ、ベタだけど、生で見るとすごいんだよ。

日本人は印象派が好きだって言うけれど、僕も大好きだね。

深く青い暗闇と、どこまでも明るいカフェテラス。

何気ない日常なんだけれども、ゴッホと同じ目線で世界を見ると、何もかもが素敵に見えてしまうんだよ。

フランスの哲学者メルロ＝ポンティが言っていたよ。

画家は世界に身体を預ける。

絵画を鑑賞する人は、絵画を観るのではなく、絵画とともに観る。

フランス人の哲学は本当に深くて美しいね。

そんなフランスもテロの標的なんだよね。

これは当たり前のことだよ。過去数百年に渡り、どれだけ世界をいじめてきたか。

そのの仕返しをされているだけだね。やられて当然。

でも、個人的には、米国・ロシアの手を借りて、テロリスト集団の国をぶちのめして、テロリストを皆殺しにして欲しいけどね。

ここに善悪はもうないな。殺られたらやり返す。それしかない。

そこに平和は無いかもしれないけれども、今のところ最善策はそれしかないと思う。

もちろん、逆側の立場からすれば、そんなのは最悪なんだけれども、

逆側の立場の人も、戦うしか無いね。罪のない人々をなるべく多く殺るだけ。

フランスの対策は、そういう考えの人間をなるべく減らすことだね。殺るしか無い。

ほんとかどうか分からないけど、プーチンがカッコイイことを言っていた。

テロリストを地獄に送るかどうかは、神様しだい。

だが、テロリストを神様の元に送るかどうかは、俺しだい。

それよりも、最近、山登りを始めたんだが、話題をこっちに変えるね。

登山はすごく楽しいよ。

まだ自分はそのレベルまで達していないけれども、さまざまな最新ギア（道具やウェア）をそろえて、ザックに衣食住すべてを詰め込んで、人々が生活していない領域、つまり高い山の上の方で、休日を過ごす。こんな楽しいことはない。

少しずつレベルアップしていくのも楽しんだよ。

はじめは晴れた日に1000m以下の山を登るだけ。

慣れてきたら、ゴアテックスのジャケットを用意して、雨が降って来ても安全に帰れるように準備する。

靴も防水、ザックの中身も防水。

もっと慣れてきたので、今は、地図を頼りに、ネットとかでは得られない情報だけを判断材料にして、未知の領域に一人で望む。

もちろん、今のところは、何も危険は無いんだけど、少しずつ、岩場とか、鎖場とかに慣

れていく。

自分の体力と技術力を確かめながら、安全に行動できる範囲を広げていくんだ。

最近、ガスバーナーと食器セットを買ったよ。

まだ使っていないけど、文明のない所で、調理するのは最高だね。

ここ台湾では山と民家のキワみたいなのところも面白い。

山に登ると、民家が段々少なくなって、お墓が増えて、更に上に行くと、道も舗装されていなくて、けもの道みたいになっていくし、さらに上に行けば、草木もなくなっていく。

文明にどっぷり浸かっていると、わからないことも、ちょっと山に登るだけで体感できるよ。

もちろん、最新ギアに身を包んでいるから、文明に守られてはいるけどさ。

とにかく、車やバス、電気、パソコン、テレビ、スマホ、そういうのから、離れた生活が体験できるって、すばらしいよ。

自然と一体化した人間。風や雨の怖さ、どこまでも続く山海。

生の自然って本当にすごいんだよ。

山から降りてきて、舗装道路にバスやバイクなどがビュンビュン走っているのをみると、逆に都会の喧騒が不思議に思えるくらいだよ。

少し山に登るだけで、文明がほとんどなくなってしまうというのは面白いね。

世界最高のビルだって1000m以下の高さしか無い。

山で1000mといたら、やっと低山とは言わないくらいのレベルだからね。

飛行機は発明したけれども、高いところで生活するというのはまだまだ。

まあ、なんというか、文明について深く考えるために、明日も山に登ってくるよ。

元気でね。



今回はUが羨ましい。いいのを出してきたね。嬉しく恨めしく悔しく妬ましい。略して羨ましい。

そこでUにお伺いをたててみたい。ここはどうなの？ って思うところをいくつか。

まず、少子高齢化の問題。介護の人員不足は機械化で解消されるかもしれないね。ただ医療や介護問題は、機械費なり医療費をどう捻出するかが問題でしょう？ 高齢者が増えても税金は増えない上、年金や医療負担は増えるから。あと人口減は内需の減少につながる。だから少子化対策に一億活躍なんちゃらとかってやってるけど、この流れに本気で歯止めをかける気はないでしょう。

子供を産みたい社会ってつまり、総中流家庭の時代じゃない？ この国でもそういう時代がちょっと前まであったけど、これからは中流をなくして格差を拡大させないと、衰退するこの国で権力者たちは自分の取り分が減ってしまうから。

続いて俺が大好きな貧乏人の問題。確かに勉強やスポーツ、芸能等に秀でていれば大金持ちになれるチャンスはすごくあるよね。Uが好きなサッカーなんていい例だ。ただこれも格差拡大だと思うけど、一獲千金が一極集中化してると思う。極端に数十億稼ぐ人と、それ以外と。相続税が平等ってのがあんなら例えば投資とか、一般には公平な競争と言われているやり方で、合法的に自分たちの利権を確保するのがこれからの権力者のトレンドじゃないかな？

あとUが昔言ってた「子をつく娘は高学歴の家庭だから頭良くて、子が見つからない娘は低学歴の家庭だから頭悪い」って本があったように、遺伝や世襲、家庭環境でスタート時のハンデはだいぶ違うよね。たとえば世襲で総理になった人いっぱいいるけど、その孫が将来落ちぶれて貧乏人になるって妄想はできない。今後も世襲は全面的な核戦争でもない限り継続されると俺は思う。

上記まとめて考えると、大金持ちの門戸は今後より狭く少数にのみ開かれる分、相対的に貧乏人の輪は深く広がって考えていることができそうだ。金持ちはより狭い利権を我が物にしようと必死だっていう俺の考えとも、矛盾しないしね。

最後にテロの問題。俺が思う一番の問題は、裏で誰がどう糸を引いてるのか、結局全然分からないことだと思う。甲状腺や白血病や原発云々と一緒に、報道が一面的になるよう統制されている。

例えばISの前身であるアルカイダはそもそもアメリカから武装化させたってのは、ウィキにも載ってる常識的な事実だしTVでも観た。また各国内にもいろんな派閥があり、戦争をやめたい人もいれば、戦争を続けたい人もいる。そして戦争で儲けるのはだいたい金持ち権力者で、前線で死ぬのはだいたい貧乏人だ。

結局そっから先、世界の金持ちがどうエグイことやってきてるかって話は、表の報道には出てこないから公平に判断できる材料に乏しい。または俺が公平だと思う情報もあるけど、それが全

部かはわからない。

まあUが山で感じるように人間も自然の一部なのは当然で、つまり広い意味じゃ人間も自然と共に生きる野生動物の一種だから、弱肉強食で殺しに善悪はない。

上記まとめると結局、自分の身は自分で守るしかないっていつものオチになる。国が戦争に突っ込むなら一緒に突撃するか逃げ出せるのか、心の準備をしとかなきゃいけない。

おおむね衰退していくこの国でどう自己実現するのか。ここから改めて考えてみるよ。

今回はこんな感じ。ご協力ありがとう。

さて、どうかな？





考えるウマシカ～第二十九回 『眼と精神』と山登り～

<http://p.booklog.jp/book/103030>

著者：弦楽器イルカ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/gengakkiiruka/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/103030>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/103030>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ